

「緊急時における学習活動に関するアンケート」の集計結果

■ アンケート実施概要

- 実施期間 令和2年8月21日（金）から令和2年9月4日（金）まで
- 対象者数 8,654名（※令和2年5月現在の児童生徒数）
- 回収件数 6,535件（回収率 75.5%）

■ 各設問の回答状況について

次の設問について、選択肢から回答を選択する形式と合わせ、その他の課題については自由記載欄への記載をしてもらう形式で実施した。

【設問】ご家庭からオンライン授業に参加するに当たっての課題を、次の<インターネット回線><端末(パソコンまたはタブレット)>のうちから1つずつお選びください。

<インターネット回線>

① 家庭内で利用できるインターネット回線がない。	3.8%
② 家庭のインターネット回線の通信速度が遅く、動画視聴ができない	1.9%
③ 動画視聴はできるが、家庭内でのデータ通信量に制限がある	8.2%
④ 家庭のインターネット回線については、①～③のような課題はない	85.3%
※ 無回答	0.8%

<端末(パソコンまたはタブレット)>

① 子どもが日常的に利用できる端末がない	19.4%
② 兄弟(姉妹)全員が同時に使える端末数がない	22.9%
③ 端末はあるが、マイクやカメラ機能(または外付けのもの)がない	16.7%
④ 端末については、①～③のような課題はない	40.3%
※ 無回答	0.7%

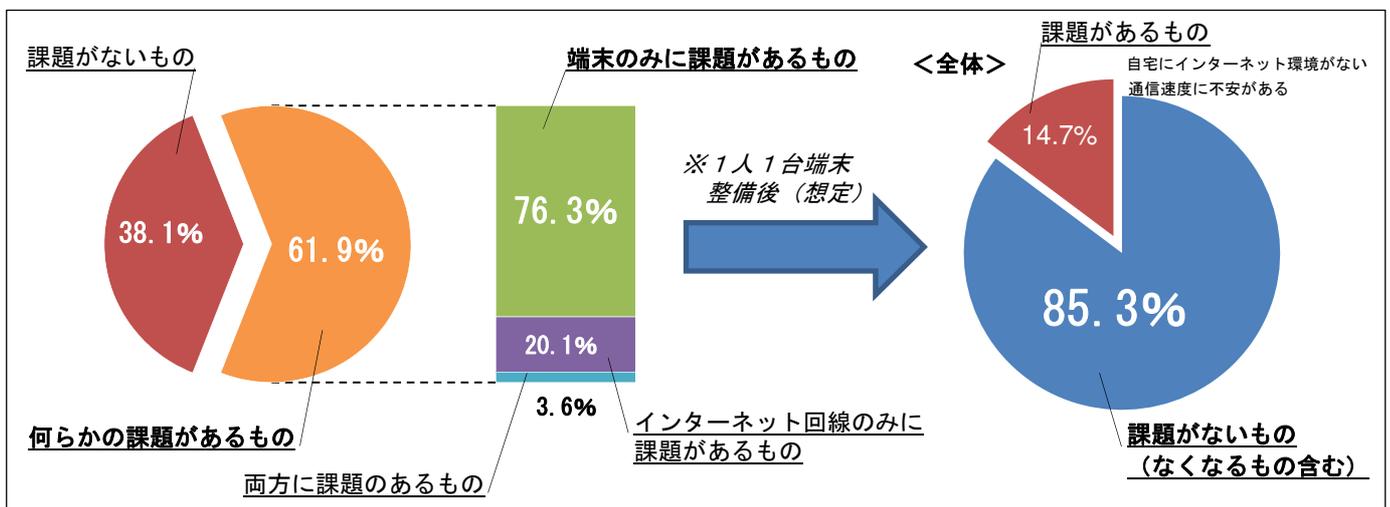
■ 分析結果について

オンライン授業の実施に当たって、

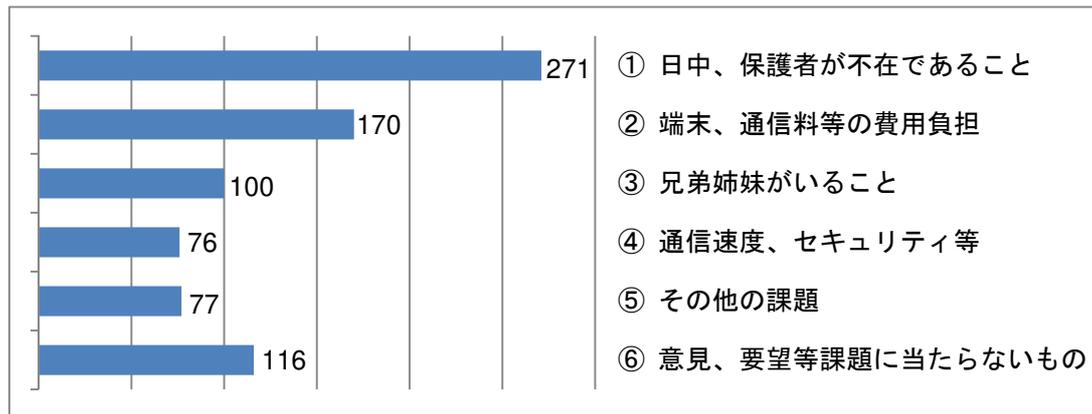
○いずれも課題がないと回答 38.1%

○どちらかに課題があると回答 61.9% ⇒ そのうち端末にのみ課題がある 76.3%

以上のことから、1人1台端末の整備により端末の課題が解消され、全体の85.3%が緊急時のオンライン授業の実施について、課題の解決が見込まれる。



■ 自由記載欄に寄せられた課題について 【 総数 810件 】



1 多数を占めた意見

① 日中、保護者が不在であること

共働き家庭等、日中、オンライン授業実施時には付添いができず、低学年の児童への操作支援や通信トラブルなどに対応できる体制が取れないといったもの。

② 端末、通信料等の費用負担

パソコン、タブレットを持たない保護者からは購入費用について、インターネット回線を引いていない保護者からは回線工事や通信料について、市に費用負担を求めるもの。

③ 兄弟姉妹がいること

来年には下の子が小学校に入学するため、端末を新たに購入する必要があるというものや、個室がないため兄弟同時は難しい、弟や妹がいると集中できないといったもの。

④ 通信速度、セキュリティ等

自宅 Wi-Fi に一度に複数台つなぐと通信速度が不安といったものや、個人情報の流出などを心配するもの。

2 少数ではあるが、特筆すべき意見

- ・対面だと子どもの理解度に合わせて指導してもらえるが、オンラインだと1人ひとりの習熟度を先生が把握するのが難しそう。
- ・特別支援学級に在籍しており、生活面での介助も多く、オンライン学習もとなるとかなり負担が大きい。
- ・双方向は難しいので、オンデマンド学習だと好きな時間に観られる。
- ・学童保育等でもオンライン授業を受けられるよう検討してほしい。
- ・祖父母の家等に預ける家庭はどうしたらよいのか。

3 意見、要望等課題に当たらないもの

単に、オンライン授業に対する賛成・反対の意を示すもののほか、保護者のスマートフォンでの実施を要望するものなど。